

働く男のライフスタイル情報紙

Biz [ビズスタ関西]

10th Anniversary

since 2008

NO.59
2019 07

ビズスタ NO.60 は2019年9月27日(金)発行

『Biz Life Style』は東京、名古屋、関西、京都、仙台、福岡、広島にて55.4万部発行
下記URLまでアクセスを。www.biz-s.jp広告掲載に関するお問い合わせ・申し込みは
TEL.06-6150-1257 FAX.06-6150-1256企画・制作／株式会社デリースポーツ案内広告社 関西支社
〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2-1-3 SORA新大阪21 15F
© 2019 DAILY ADVERTISING AGENCY CO.,LTD

「そして、生きる」
誰かのために
すべての人たちへ。



ヘアメイク:山下景子(KOHL) スタイリスト:瀬川結美子 衣装:ダブル アンド エム／インドル カメラマン:黒田明臣 インドル/03-5808-3977

私が演じた生田瞳子はすごく男前な性格で、決断力があつて曖昧なことが嫌い。素直じゃなくて表にはあまり出さないけど、しっかりいろいろなことを考えて、選択をしながら生きていく子です。小さい頃に両親を亡くし、甘えられる人がいない環境で

主人公についてはいかがでしたか？

主人公の瞳子が17歳の時から約10年間を描いた作品で、ラブストーリーというより、どちらかというとヒューマンストーリー。壮大な人生の物語を私が演じさせていただくということで、役と一緒に私も大人に成長させてくれるような脚本なのかなど感じました。

今回の脚本を読まれた時の感想はいかがでしたか？

岡田さんの脚本は、人の痛みと幸せが絶妙のバランスで成り立ち、誰もが感じたことのある繊細なラインの感情を突く。そして、毎回違う自分を引き出してくださる脚本、キャラクターに愛情をひしひしと感じます。

一 岡田恵和さんとのタッグは今回で5作目ですが、岡田さんの脚本の印象は？

品に対する想いを伺った。



女優 有村 架純 さん

1993年2月13日生まれ、兵庫県出身。NHK連続テレビ小説『あまちゃん』の好演で一躍注目を集め、『紅白歌合戦』司会を2年連続でつとめる。映画では『映画 ピリギヤル』、『3月のライオン』、『ナラタージュ』、『フォルトゥナの瞳』に出演。今年8月公開『ドラゴンクエスト』ユア・ストーリーではピアンカ役の声に挑戦。ドラマでは『いつかこの恋を思い出してきっと泣いてしまう』フジテレビ系、『中学聖日記』TBS系、連続テレビ小説『ひよっこ』NHKなど、映画、ドラマに多数出演。この夏の活躍も期待される。

瞳子がいろんな困難を乗り越えて大人になっていく様子をちゃんと描けたらと思います、ちょっとずつお芝居を変えたりしています。また、監督や作品の趣旨としてはドキュメンタリーっぽく撮りたいということがあったので、計算しすぎないよう、台本はあまり読みませんで

した。セリフはもちろん頭に入りますが、感情の流れを把握したらお芝居の中でどう

「生きる」「じゃなくして」「そして生きる」。そして何だろうと。地球の人々には何億通りの人生がある。そんな中、何かのために生きる。どんな困難があっても、誰かのために生きる。観てくださる方々の「そして、生きる」人生に少しでも響くものがあるよう精一杯私も役を生きていますので、ぜひ楽しみにしていてください。

一 岡田さんは「毎回違う自分を引き出してくださる」とおっしゃっていましたが、今回はどの部分が違いましたか？

「自分で決めたからどういう姿勢には共感しました。私もどちらかというと自分で決めたからどういう結果になつてもしようがない」と思うタイプなので。

一 共感する部分はありますか？

一 今回、東日本大震災というのが一つのポイントにもなっていますが、演じられていました。尊敬してしまいました。

育っているから、自分で決めて生きていくのが当たり前なんですね。私はこのお仕事を始めるまでは周りに身を任せてきたタイプだったのですが、瞳子はすごいなとつたので、瞳子はすごいなと尊敬してしまいました。

一 8年経った今でも復興作業は行われていますし、まだまだ復興に向けて頑張っている方々がいらっしゃる。少しでも東北への思いをドラマで伝えていけば、またドラマを見ることで東北に思いを馳せてくださる方がたくさんいたらいなと思いつながら演じています。

一 今度自分が変化させていたらしいなと思つて。

STORY

3歳時に交通事故で両親を亡くした生田瞳子(有村架純)は、盛岡で理髪店を営む伯父に引き取られる。天真爛漫に育った瞳子は、時に地元のアイドルとして活躍することもあり、いつしか女優を志すようになっていた。そして、19歳になった瞳子は、東京で開催されるオーディションに覚悟をもって挑もうとするが、本番前日の2011年3月11日、東日本大震災が起きる。その年の秋、瞳子はカブコで一緒に働いている韓国人のハン(知英)とともに、気仙沼でのボランティア活動に参加する。瞳子はそこで、学生ボランティア団体の運営メンバーである東京の大学生・清水清隆(坂口健太郎)と出会う。穏やかで整然と現場を取り仕切る清隆だったが、瞳子はなぜか彼のほほえみに違和感を覚えていた。清隆自身もまた過酷な運命を背負っていることを、瞳子は知る由もなかった。そして気仙沼での日々をともに過ごした瞳子と清隆はいつしか互いに特別な感情を抱いていく。

特設サイト:<https://www.wowow.co.jp/dramaw/ikiru/>

© 2019 WOWOW INC.

連続ドラマW そして、生きる

8月4日(日)スタート(全6話) [第1話無料放送]
毎週日曜 夜10時より WOWOWプライムにて放送

脚本:岡田恵和 監督:月川翔
出演:有村架純 坂口健太郎 知英 岡山天音 萩原聖人 光石研 南果歩 ほか

